






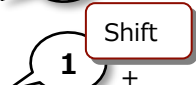

# ～電気部材変換編～

# 目次

DXF図面のオブジェクトをCADEWA部材に変換してみましょう

1. 開く
2. 名前を付けて保存
3. 部材変換
4. 上書き保存

## マウスの使い方

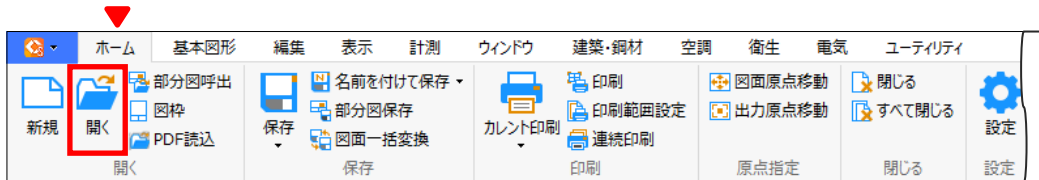
- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
|  | …指示位置をクリック (左クリック) します。               |
|  | …指示位置をマウス右ボタンでクリックします。                |
|  | …指示位置をダブルクリック (左2回クリック) します。          |
|  | …マウスを表示位置に近づけます。                      |
|  | … [ Ctrl ] キーを押しながらクリック (左クリック) します。  |
|  | … [ Shift ] キーを押しながらクリック (左クリック) します。 |
|  | …マウス右ボタンをクリックしたまま移動します。               |
| <b>右ドラッグマウス移動</b>   |                                       |

# 1.

## 図面を開きましょう

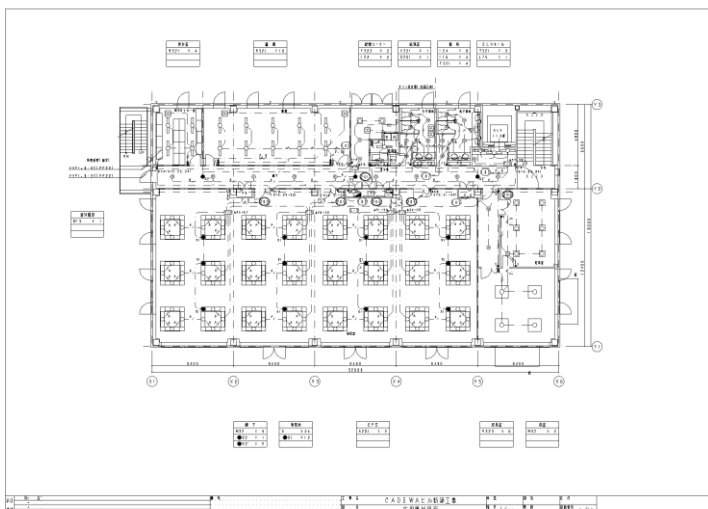
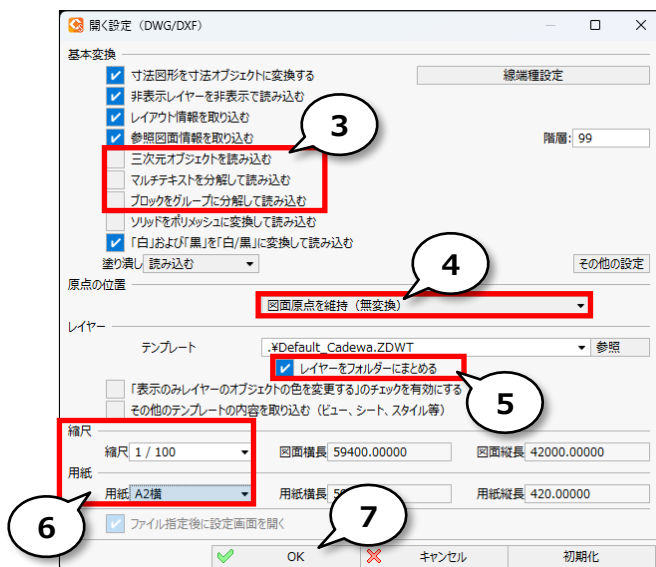
### Operation

開く



使用する図面は  
Smart\_70\_E06\_電気部材  
変換開始.dwg

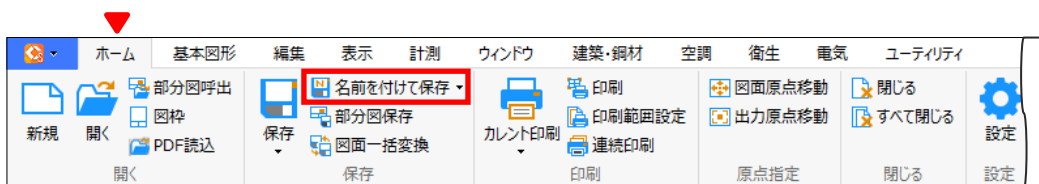
- ① 図面を選択します
- ② 開く
- ③ 「三次元オブジェクトを読み込む」、「ブロックをグループに分解して読み込む」をOFFにします
- ④ 原点の位置を「図面原点を維持（無変換）」に設定します
- ⑤ 「レイヤーをフォルダーにまとめる」をONにします
- ⑥ 縮尺と用紙を変更します  
\*縮尺：1/100  
\*用紙：A2横
- ⑦ OK



## 図面を保存しましょう

## Operation

名前を付けて  
保存



- ① ファイル名を入力します  
\*Smart\_70\_E06\_電気部材変換開始.ZDW

- ② 保存



# 3.

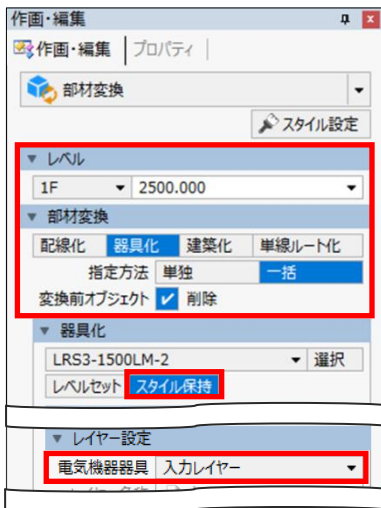
## 汎用線を電気部材のオブジェクトへ変換しましょう

### Operation

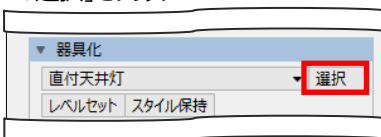
#### 部材変換



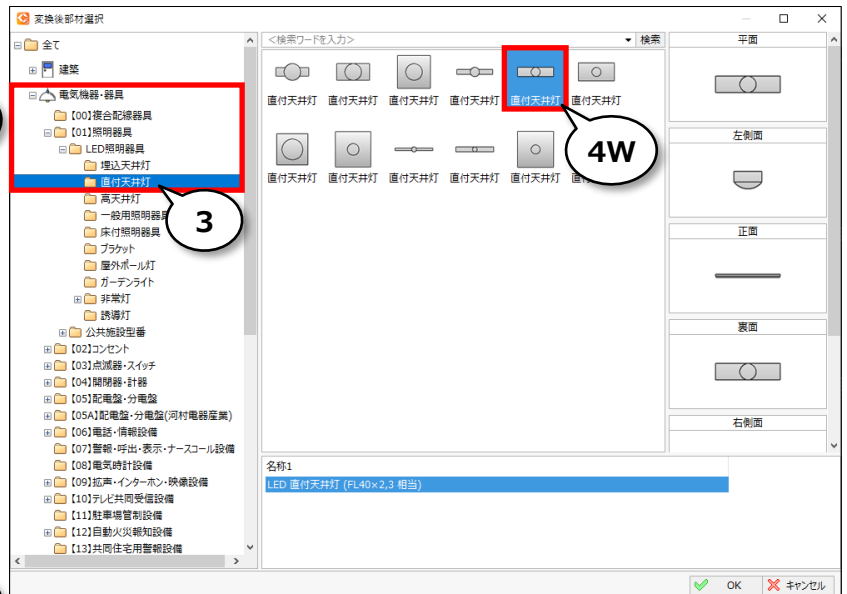
- ① 器具の部材変換を設定します  
 \*レベル：2500 \*変換：器具化  
 \*指定方法：一括  
 \*変換前オブジェクト：「削除」ON  
 \*「スタイル保持」ON  
 \*レイヤー設定：電気機器器具「入力レイヤー」



- ② 変換後の器具を設定します  
 \*「選択」をクリック



- ③ 器具を選択します  
 \*「電気機器・器具」-「【01】照明器具」-「LED照明器具」-「直付天井灯」



- ④ W「直付天井灯」を選択します

- ⑤ 変換後の配置角度やスタイル等を設定します  
 \*角度：「最長線分優先」ON



① レイヤーを設定します  
\*「電気設備」-「機器・器具」-  
「電力設備」-「電灯設備」

② 変換するオブジェクトを選択してください

③ 範囲選択の終点を指示してください

④ 右 選択完了

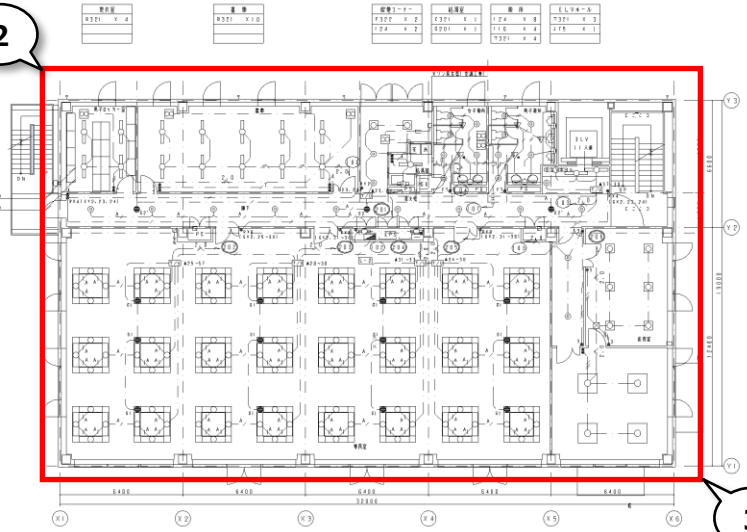
⑤ グループを指示してください  
\*横向き器具を指示

⑥ グループを指示してください  
\*縦向き器具を指示

設備 ▶ 機器・器具 ▶ 電力設備 ▶ 電灯設備

1

2



3

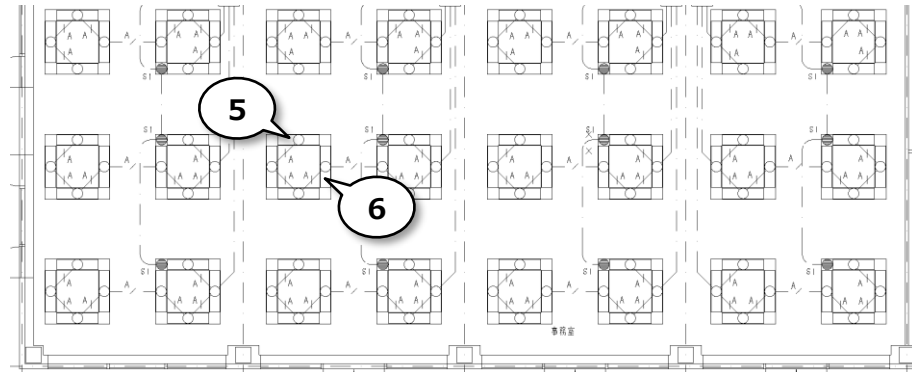
4右

右ドラッグマウス移動

右ドラッグ移動により、  
選択を完了します。  
[ Enter ]キーまたは、  
[ OK ]ボタンクリックでも  
確定します。

5

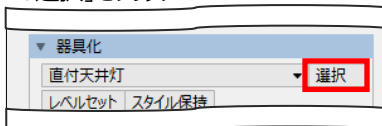
6



## プルボックスへ変換します。

### ① 変換後の器具を設定します

\*「選択」をクリック



1

### ② 器具を選択します

\*「電気機器・器具」-「【29】プルボックス」

### ③ W 名称1を選択します

\*プルボックス (さび止め・平ふた  
300x300x300)

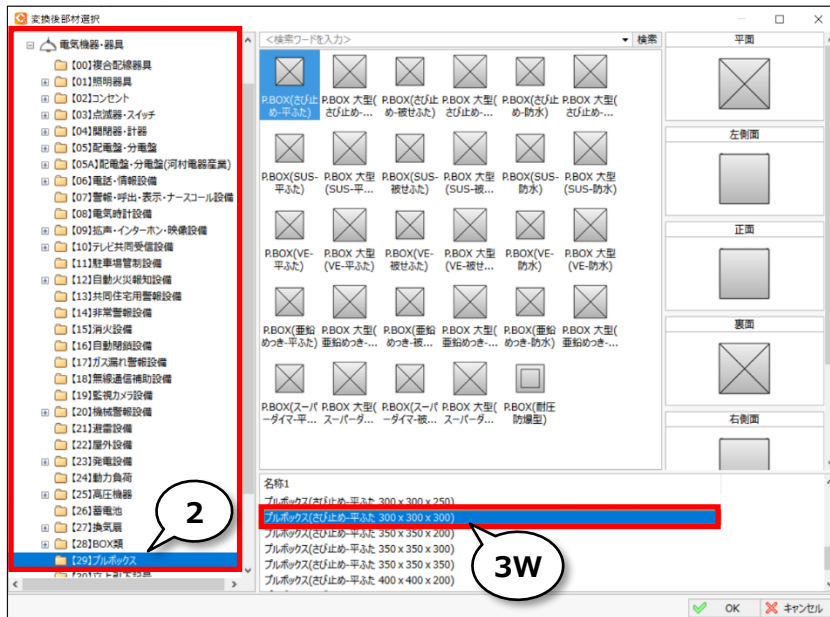
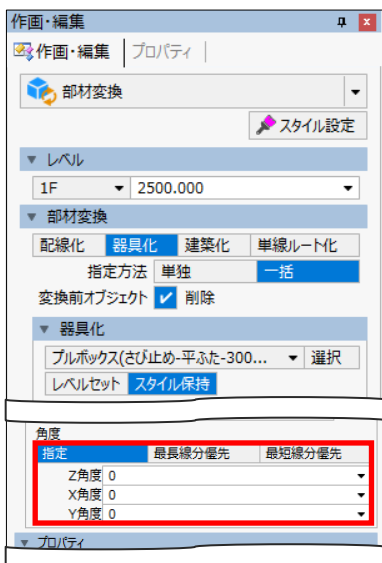
### ④ 変換後のレベル、配置角度を設定します

\*角度: 「指定」ON

\*Z角度: 0

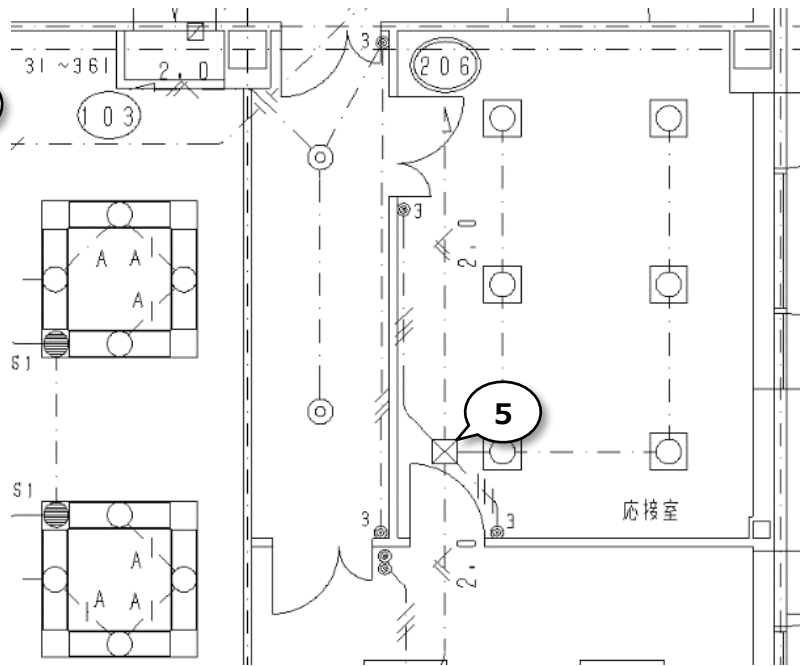
\*X角度: 0

\*Y角度: 0



4

### ⑤ 変換するオブジェクトを選択してください



## 器具化について

- 変換対象

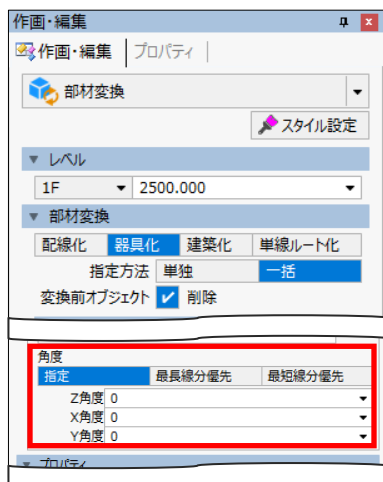
器具化（単独）の変換対象：点、線、円、円弧、楕円、楕円弧、文字、ポリライン、スプライン、拡張オブジェクト

器具化（一括）の変換対象：円、ポリライン、スプライン、拡張オブジェクト

（※器具化の対象となる拡張オブジェクトは、建築を除くCADEWA Smartで作画した機器器具や配線・配管・ダクトなどのルート部材、表、雲、3D図形、ブロックなどが該当します。）

「一括」で意図した変換ができない場合は「単独」での変換をお試しください。

- 角度



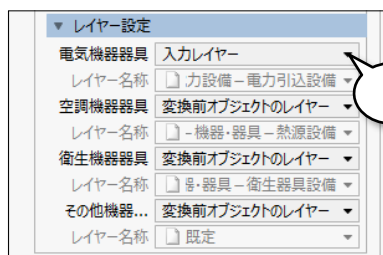
「指定」ONの場合、Z角度、X角度、Y角度に入力した角度で配置します。

「最長線分優先」ONの場合、変換対象要素の最長線分の角度を優先して配置します。

「最短線分優先」ONの場合、変換対象要素の最短線分の角度を優先して配置します。

- 変換後レイヤー

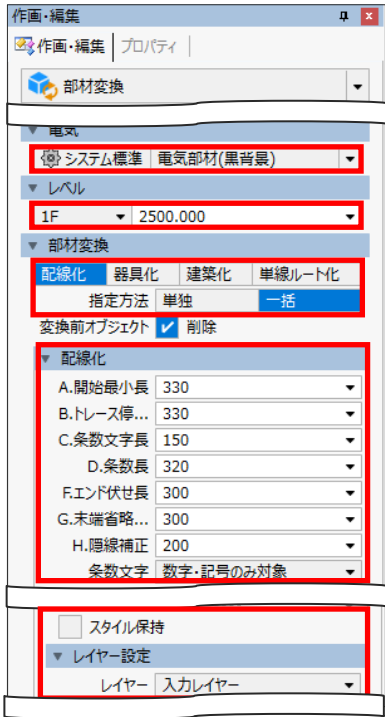
変換した器具は「レイヤー設定」で指定されたレイヤーに入ります。



✓ 入力レイヤー  
変換前オブジェクトのレイヤー  
指定レイヤー

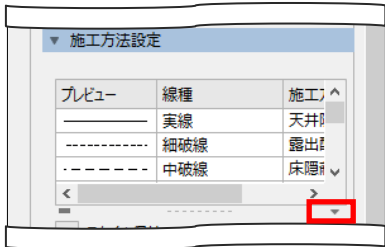


- ① 配線の部材変換を設定します
  - \*プリセット：電気部材（黒背景）
  - \*レベル：2500
  - \*変換：配線化
  - \*指定方法：一括
  - \*A.開始最小長：330
  - \*B.トレース停止長：330
  - \*C.条数文字長：150
  - \*D.条数長：320
  - \*F.エンド伏せ長：300
  - \*G.末端省略記号長：300
  - \*H.隠線補正：200
  - \*条数文字：英数字・記号のみ対象
  - \*「スタイル保持」OFF
  - \*レイヤー設定:レイヤー「入力レイヤー」



1

- ② 施工方法設定を確認します
  - \*右下「▼」をクリック

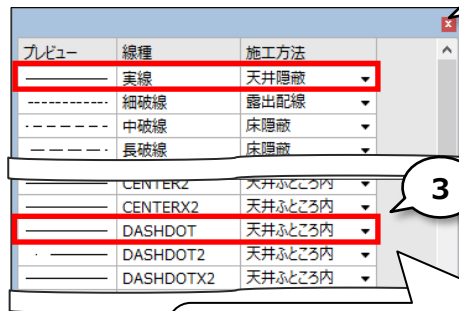


2

- ③ 施工方法を設定します
  - \*実線：天井隠蔽
  - \*DASHDOT：天井ふところ内

- ④ 閉じる

- ⑤ レイヤーを設定します
  - \*「電気設備」－「配管・配線」－「電力設備」－「電灯設備」



4

3

線種ごとに変換後の施工方法を  
設定します



5

① 「設定」ボタンをクリックします

② 選択フィルターを設定します  
\*「スタイル」をON

③ 色設定の「全解除」ボタンをクリックします

④ 色検出を「白/黒」、「6.黄」のみONにします

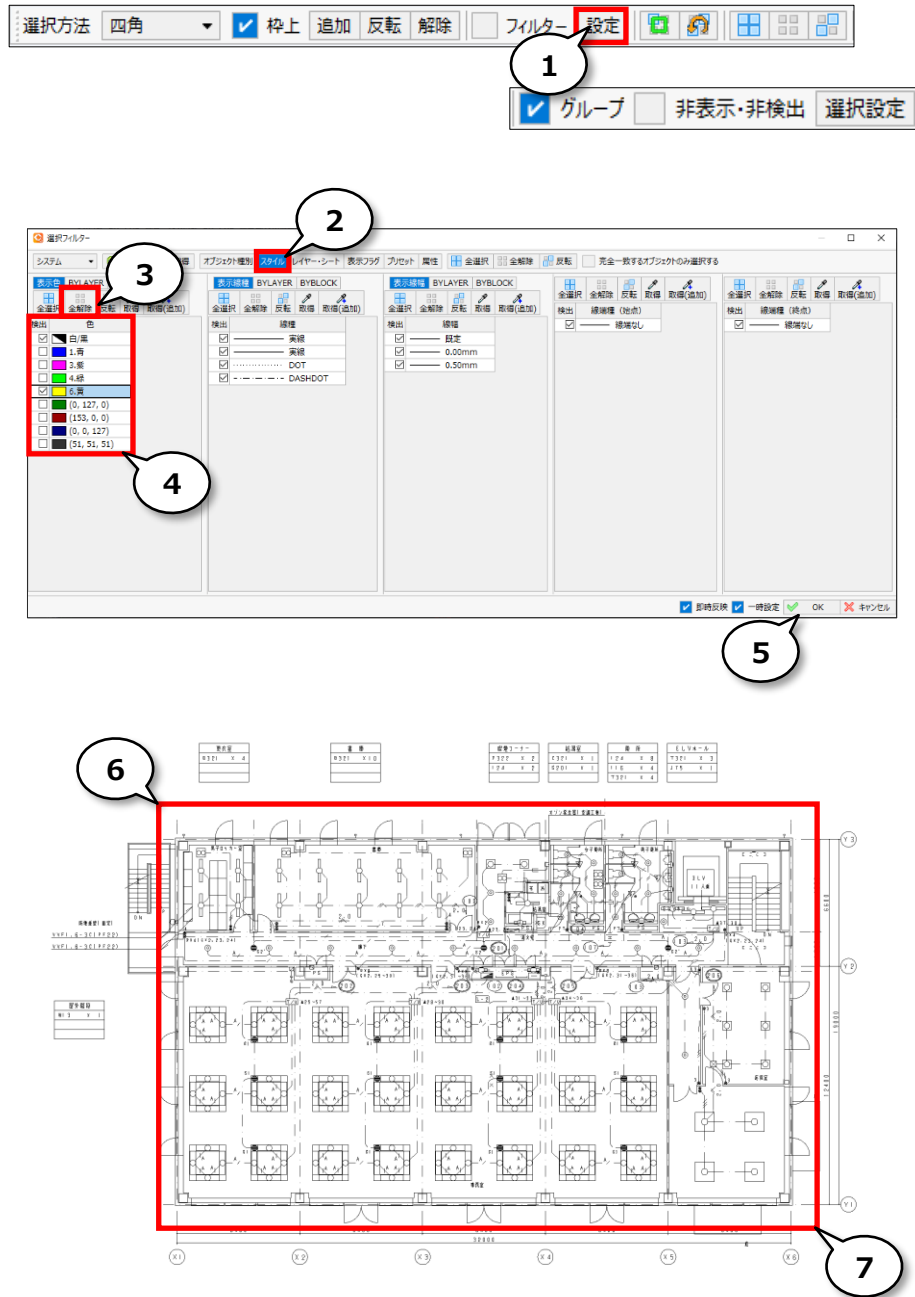
⑤ OK

⑥ 変換するオブジェクトを選択してください

⑦ 範囲選択の終点を指示してください

⑧ 右 選択完了

⑨ 選択フィルターをOFFにします



8右  
右ドラッグマウス移動

右ドラッグ移動により、  
選択を完了します。  
[ Enter ]キーまたは、  
[ OK ]ボタンクリックでも  
確定します。

## 配線化について

### 変換対象

配線の変換対象：線、円弧、楕円弧、ポリライン、スプライン  
 配線条数の変換対象：線、円弧、文字、ポリライン、スプライン  
 省略記号の変換対象：線、円弧  
 エンド伏せの変換対象：線、円弧、楕円弧

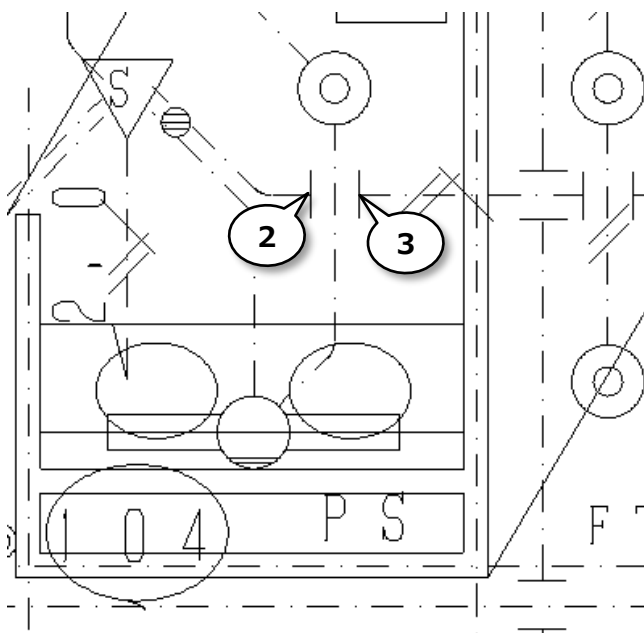
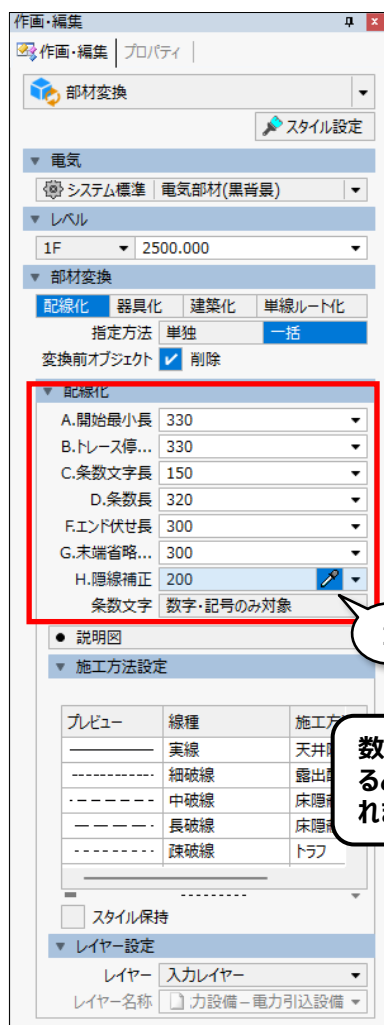
元図がDWGファイルの場合、ブロック要素は配線化対象になりません。  
 「分解」コマンドで線や円弧に分解してから配線化を行ってください。

### 変換後レイヤー

変換した器具は「レイヤー設定」で指定されたレイヤーに入ります。

### 「配線化」設定について

条数化する対象長さや隠線記号化する対象長さなど、配線化する際の各種対象長さを設定します。  
 設定にはスポイトが使用できます。



1

数値入力欄にマウスを移動すると、スポイトマークが表示されます。

4

距離 200

距離 x 200

距離 y 0.17

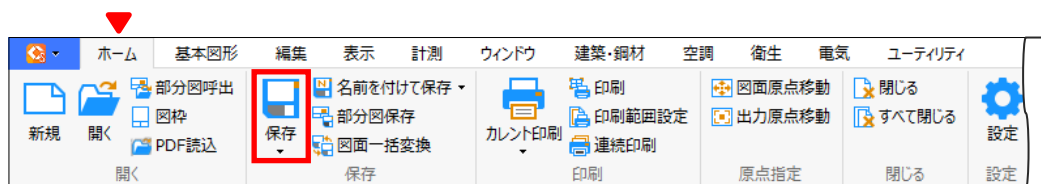
距離 z 0

# 4.

## 図面を上書き保存しましょう

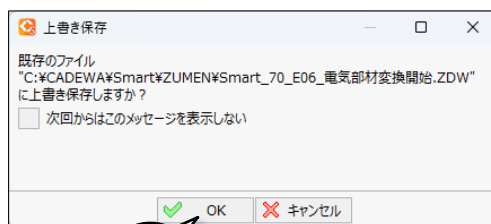
**Operation**

上書き保存



① OK

\*既存のファイルを確認



1